



LK-G3000 シリーズ LabVIEW 計測器ドライバ リファレンスマニュアル

目次

1.ソフトウェア使用許諾契約について.....	3
2.はじめに.....	4
3.動作環境.....	4
4.インストール方法.....	4
5.計測器ドライバの使用方法.....	5
6.計測器ドライバのパッケージについて.....	5
7.エラーコード.....	5

1.ソフトウェア使用許諾契約について

本ソフトウェアは、お客様が以下のソフトウェア使用許諾契約（以下「本契約」といいます）にご同意いただけることが、ご使用の条件となっております。

お客様が本ソフトウェアの全部または一部を使用または複製した場合、本契約のすべての条項にご同意いただいたものとし、本契約は成立します。

第1 条（使用権の許諾）

お客様における本契約の遵守を条件として、株式会社キーエンス（以下「当社」といいます）は、お客様に本ソフトウェアの非独占的な使用権を許諾します。

第2 条（禁止事項）

本ソフトウェアについて、お客様における以下の行為を禁止します。

- a. 本ソフトウェアの機能を変更、追加する等の改変行為。
- b. 逆コンパイルまたは逆アセンブル等の一切のリバースエンジニアリング行為。
- c. 本ソフトウェアおよび当社より提供された本ソフトウェアのライセンスキー等を、第三者に対して再販売、譲渡、再配布、使用許諾、レンタル、リース等する行為。ただし、お客様が本ソフトウェアを使用して作成したアプリケーションと共に再配布することはできるものとします。

第3 条（著作権等）

本ソフトウェアおよび本ソフトウェアのマニュアルに関する著作権等の知的財産権は、当社に帰属します。

第4 条（免責）

当社は、本ソフトウェアを使用した結果により生じた、お客様もしくは第三者の損害に対して、いかなる責任も負いません。

第5 条（サポート）

当社は本契約に基づき、当ソフトウェアに関するお客様の質問事項等について、技術サポートを提供します。

ただし、当社の技術サポートによって、お客様の目的が達成されることをお約束するものではありません。

第6 条（契約の終了）

1. お客様が本ソフトウェアおよび複製物を破棄する等の手段によって、本ソフトウェアの使用を中止した点をもって、本契約は自動的に終了するものとします。
2. お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合は、当社は本契約を一方的に解除することができます。この場合、本ソフトウェアおよび複製物は、直ちに当社へ返却または破棄していただきます。
3. お客様が本契約に違反したことに起因して、当社に損害が生じた場合は、お客様は当該損害を当社に賠するものとします。

第7 条（準拠法）

本契約は、日本国法に準拠するものとします。

2.はじめに

LK-G3000 シリーズ LabVIEW計測器ドライバは、ユーザーアプリケーションからLK-G3000 シリーズを制御するための各種ドライバVIおよびこれらの使用法を示すサンプルVIを提供します。

LabVIEWの標準のプラグアンドプレイ計測器ドライバのテンプレートを元に作成されており、他の多くのプラグアンドプレイ計測器ドライバ同様、LabVIEWの関数パレット(計測器I/O)からVIを選択して利用可能です。

3.動作環境

LK-G3000 シリーズ LabVIEW 計測器ドライバを使用するためには、National Instruments LabVIEW 8.6 以降(32bit)が動作することと、次のパソコンシステム環境が必要です。また LK-Navigator がインストールされている必要があります。

CPU	Pentium 400MHz 以上
メモリ	64M バイト以上
HD 空き容量	2M バイト以上
I/F	USB 1. 1 もしくは USB1. 1 互換
OS	Windows98、Windows98SE、WindowsME、Windows2000、WindowsXP、WindowsVista、 Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate

4.インストール方法

LK-G3000 シリーズ LabVIEW 計測器ドライバのインストール手順について説明します。

- ①フォルダ内の「Keyence LK-G3000」を、フォルダごと LabVIEW の instr.lib フォルダにコピーしてください。
instr.lib フォルダの場所 例) C:\Program Files(x86)\National Instruments\LabVIEW 2012\instr.lib
- ②LabVIEW で ツール>上級>一括コンパイル をクリックします。
- ③「コンパイルするディレクトリ選択」で instr.lib にコピーした「Keyence LK-G3000」フォルダに入り、「現在のフォルダ」をクリックします。
- ④「一括コンパイル」をクリックします。
※Bad VI: “Keyence LK-G3000.lvlib: VI Tree.vi”のような警告メッセージが発生しますが、「終了」をクリックしてください。

以上でインストールは終了です。LabVIEW を使用する際は LabVIEW を再起動してから使用してください。

※アンインストールする際は②で instr.lib フォルダにコピーしたファイルを削除してください。

5.計測器ドライバの使用方法

各ドライバ VI またはサンプル VI は 表示>関数パレット>計測器 I/O>計測器ドライバ>「KeyenceLK-G3000」から選択可能です。

<サンプル VI 概要>

GetCalcData

→測定値を取得しグラフ表示します。

6.計測器ドライバのパッケージについて

各 VI は各 DLL の関数を元に作成されています。詳細の使用方法は「HelpFiles」フォルダの ReadMe.htm を参照ください。また DLL の全関数ではなく一部を VI として提供しています。使用できる VI は下記の通りです。

VI 名	DLL の関数名
LKIF_GetCalcData	測定値出力 LKIF_GetCalcData
LKIF_SetTiming	タイミング ON/OFF LKIF_SetTiming
LKIF_SetZero	オートゼロ ON/OFF LKIF_SetZero
LKIF_SetReset	リセット LKIF_SetReset
LKIF_SetPanelLock	パネルロック LKIF_SetPanelLock
LKIF_SetProgramNo	プログラム切り替え LKIF_SetProgramNo
LKIF_GetProgramNo	プログラム確認 LKIF_GetProgramNo
LKIF_GetFigureData	統計結果出力 LKIF_GetFigureData
LKIF_ClearFigureData	統計値クリア LKIF_ClearFigureData
LKIF_DataStorageStart	データストレージ開始 LKIF_DataStorageStart
LKIF_DataStorageStop	データストレージ停止 LKIF_DataStorageStop
LKIF_DataStorageInit	データストレージ初期化 LKIF_DataStorageInit
LKIF_DataStorageGetData	データストレージ出力 LKIF_DataStorageGetData
LKIF_DataStorageGetStatus	データストレージ蓄積状態出力 LKIF_DataStorageGetStatus
LKIF_GetLight	受光波形取得 LKIF_GetLight

7.エラーコード

各ドライバ VI が **error out** 出力端子に出力するエラーコードは 0x80000 です。